学校番号	3018

令和2年度　芸術　科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	(2)単位	年次	(1)年次
使用教科書	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 ノート	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容 ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	美術について	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書などを鑑賞し、多様な表現方法について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・道具の使い方、基礎的な技法を確認し習得する。	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 c:対象を見つめて、形態の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 d:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性と基礎的な表現ができている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	風景画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・校内鉛筆スケッチ 遠近法の種類と形の捉え方について学び、校内で好きな場所を選び作品を制作する。 ・校内油画制作 油絵具の特性と特徴を理解し作品を制作する。	○ ○	○	○	○	a:選んだ場所の選択理由と作品の完成イメージを持っている。 b: 選択場所のイメージを膨らませ、どのように見せていくかを構図で表現できている。 c: モチーフにあわせて鉛筆の芯の太さ、線の変化、消しゴムなどを工夫し描けている。 d:他の生徒の完成した作品を鑑賞し、自分とは違う表現について理解、分析	スケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
前期期末	人物画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・鉛筆スケッチ(自画像) モデルをじっくり観察し、輪郭や立体感を意識し描く。 ・人物油画制作 油絵の具の特性を生かしながら、創造的な表現の構想を練る。 他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り理解を深める。	○ ○ ○	○	○ ○	○	a: 深く観察し人物が持つ特徴や質感について理解できる。 b:モデルを見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて画材や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。	スケッチ 制作の様子 制作途中の作品
後期中間	ポスターデザイン	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・デザインとは 教科書を利用しデザインの定義について学んだ後、いろんなデザインと作品を鑑賞する。 ・テーマ・アイデアスケッチ ポスターのテーマについて決め、構図を考える。 ・制作 下書きからペン入れ、色づけ、必要に応じて各自で用意した素材で制作する。 ・鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:本の完成イメージとレイアウト、内容について考え、表現するテーマをわかりやすく見せることができる。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
後期期末	自由制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・素材選び 与えられた素材の特性を考え、アイデアを練り、構想する。 ・制作 ・鑑賞		○ ○	○ ○	○	b:感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成し、創造的で心豊かな表現の構想を練っている。 c:主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現している。 d:発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析し、作品や作者の個性への理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 作品

※ 表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力　c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。